学校番号	T3016

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)職業基礎実習	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行う。
・溶接体験を含む機械科の実習など様々な体験的・実践的な活動を行う。
・この授業を通じて、自分をみつめ自分の特性を発見し、将来の職業を考えられるような活動を行う。
・実習内容を深く理解し、現在の産業社会における自己の職業選択について考えさせる。
・この授業は『産業社会と人間』とお互いに関係のある科目である。

2　学習の到達目標

① 集団の一員としての自覚を持ち、マナーや常識を身につけさせる。
② 現在の職業選択の正確な理解とそこに根付いた職業観、勤労感の育成
③ 自己の在り方、生き方を考える姿勢を身につけさせ、自己の将来像を考えさせる。
④ 職業について考えさせ、望ましい職業観・勤労観の育成をはかり、進路意識を高めさせる。
⑤ 自分の考えを持ち、それを正しく表現する力を身につけさせる。
⑥ 基礎的な工業科実習についてその内容を習得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・働くことの意義、進学の目的について理解し、高校での学習の大切さを理解している。 ・基礎的な工業科科目に関する実習を通して、基本的な工業科科目に関する知識を身につける。	・健全な職業観を持ち、職業を通じ社会に貢献することの必要性を理解している。 ・基礎的な工業科科目に関する実習を通して、次年度以降の科目選択について考える。	・将来の職業選択に関心を持ち、意欲的に問題に取り組んでいる。真面目な態度で授業を臨むことができる。 ・基礎的な工業科科目に関する実習について主体的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	職業選択の現状	・オリエンテーション ・職業選択の現状を読み、正確に把握させその理解に必要な演習講義。	a:総合学科で学ぶ意義を考え「職業基礎実習」の学習について考察することができる。 b:地元産業の現状について理解する。 c:SDGs など社会問題に関心を持ち、問題解決を考察することができる。	ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	観察 実習の作品 レポート
前期 後期	身の回りの工業	・竹細工を含む木工 ・危険物の安全な取扱いについて ・溶接体験	a:工業関係の用具の使い方を理解したか。実習を通して、ものづくりの大切さを理解したか。 また、安全な危険物の取り扱いの基本的な考え方ついて理解したか。 b:行っている実習を通して、次年度以降の適切な科目選択について判断し、さらに資格取得や職業選択について考える。 c: 行っている実習を真面目に主体的に取り組み、将来の職業選択について真剣に考えられる。	ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	実習の作品 レポート 観察

後期	ICT 利活用技術	・基本的なプログラミング	a:基礎的なプログラミングの仕組みについて理解したか。実習を通して、プログラミングの重要性を理解したか。 b:行っている実習を通して、次年度以降の適切な科目選択について判断し、さらに資格取得や職業選択について考える。 c: 行っている実習を真面目に主体的に取り組み、将来の職業選択について真剣に考えられる。	ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	実習の作品 レポート 観察
	ペーパークラフト	・ナイフを用いたペーパークラフト	a:紙をナイフで切り抜き組み立てる工程を、できるだけ正確に行うことができる集中力や手先の器用さを養うことができたか。 b:行っている実習を通して、次年度以降の適切な科目選択について判断し、さらに資格取得や職業選択について考える。 c: 行っている実習を真面目に主体的に取り組み、将来の職業選択について真剣に考えられる	ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	実習の作品 レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度